

山城愛



1_甲冑を身にまとい、気分は戦国武将
 2_伊達政宗が「いざ出陣」と雄たけびを上げる
 3_忍城おもてなし甲冑隊が忍伝説を紙芝居で披露
 4_片倉家に伝わる火縄銃演武
 5_歴史案内人が城の魅力がPR
 6_山城にほら貝の音色が響く
 7_大川さんが力強い演奏を視聴者に届ける
 8_桃ゼリーに太鼓判
 9_迫力ある武将隊のステージ
 10_半田醸芳小の祇園ばやし演奏
 11_無事大会が閉幕し、安堵の表情を見せる参加者

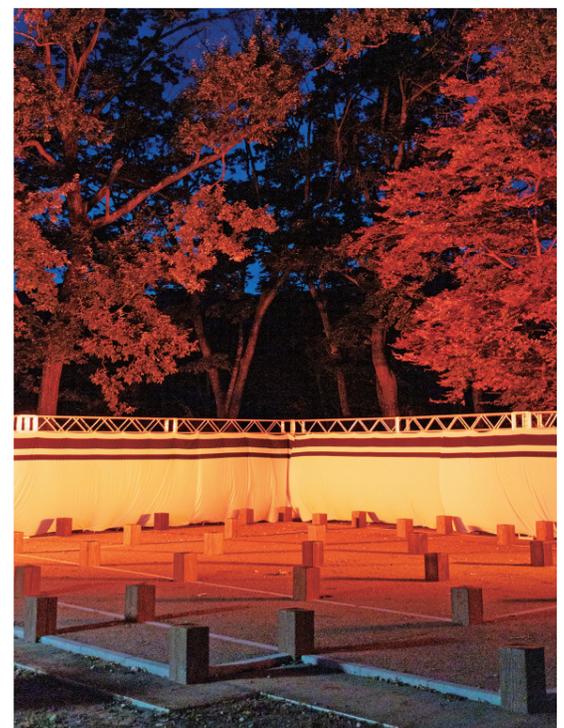
ため、動画投稿サイト「ユーチューブ」によるオンライン配信に切り替えて実施。桑折西山城の魅力や、ライブ映像を通じて、全世界へ広く発信しました。

ライブ収録のメイン会場となった町民体育館では、テレビ番組「笑点」でおなじみの落語家・春風亭昇太さんと、3年連続の登壇となる城郭研究の第一人者・千田嘉博さんが歴史トークを繰り広げました。また、伊達政宗一行に扮した伊達武将隊をはじめ、やまがた愛の武将隊、忍城おもてなし甲冑隊から人気3武将隊が、迫力満点の演武を披露。本県出身の箏奏者・大川義秋さんが、視聴者の心に寄り添うやさしい音色を奏で、ステージに花を添えました。中継先の桑折西山城跡では、桑折西山城の支城だった、宮城県白石城を拠点に活動する伊達家臣の片倉鉄砲隊がコロナの収束を願い、火縄銃演武を披露。また、半田醸芳小学校の児童が「半田銀山祇園ばやし」を心ひとつに演奏し、町歴史案内人は「コロナが収束したら、ぜひ町へお越しください」と笑顔で呼び掛け、大会を盛り上げました。

伊達氏の礎ここにあり 桑折西山城から世界へ

戦国時代、東北最大の大名・伊達氏の本拠地であった、国指定史跡「桑折西山城跡」。「独眼竜」伊達政宗の曾祖父、14代・積宗が政治を治めた歴史的舞台で、10月30日、31日、「全国山城サミット桑折大会」が開催されました。

当初は、全国各地の歴史ファンが現地に来る予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の



▲大会時に本丸をライトアップ。幻想的な雰囲気を出



▲町民体育館や桑折西山城跡からライブ配信。役場やイコーゼを開放し、パブリックビューイングで感動を分かち合う



▲大会を記念して作った御城印も大好評

千 中館や西館も、これまた土塁がすごく立派な造りで…。出入口が非常に変わった形で、L字型になっています。

春 1530年代のお城にしては、早すぎるような…。これだけ高低差のあるところに、よく作ったなと感心します。

千 全体としては、1530年代のお城によく見られる造りですが、守りの要となるところは、先進的な造りになっています。古い造りと新しい造り、両方楽しめるのが、桑折西山城の良いところですね。

春 近世になると、日本が統一され、お城の造りも均一化されていきます。石垣や天守を造り、瓦を使う…と特徴が似てくるんです。でも、中世のお城は、その土地土地の山の形や地質によって個性や色があります。本丸から眺める景色も、これまた素晴らしいですよ。ああ、なるほど、ここにお城をつくるよなと納得しました。

千 ええ、まさに天下をとったという感じの風景ですよ。下界からも城が見え、ここにお城

春風亭 桑折西山城には、全国に先駆けて、工夫を凝らして作った遺構が多く残っているんです。それが一番の特徴であり、他と違う魅力だと思います。

千田 そうですね。堀の造り方ひとつ見ても、わざわざ土を掘らずに、城壁にある土を盛って空堀にしている、工夫が見られますよね。この造りは、全国的にも早い例で、ここに暮らす人が知恵を出し合い、挑戦して作ったお城だったんだということが分かります。

春 切岸を作って、土塁を作った、空堀にしている。土を盛る手間を省けて、なかなか良いやり方ですよ。

千 大手門の造りも、土塁がきゅつと伸びていて、城好きにはたまらない、うっとりするポイントです。こうした造りにすることで、本丸へ向かう敵が丸見え状態になり、背後から撃ち放題に…。入口の所からよくできていますという印象です。

春 本丸へ続く門も、少し内側に入り込んで、敵の進入を防いでいて、芸が細かいですよ。

歴史トーク より抜粋 | 桑折西山城の魅力とは—— |

Talk Session

よしひろ 千田 嘉博さん × しょうた 春風亭 昇太さん

城郭研究の第一人者
奈良大学教授

落語家として第一線で活躍
中世の城郭好きとして知られる

千 様がいるんだというのが一目で分かる、とても良い場所につくったなと思います。

春 そんな眺めが良いのも、今なお木や草を刈り、きれいに整備してあるからこそですね。

千 ただの森になっていたら、地域の方も魅力を感じられないと思います。こんなにきれいに整備されていたら、町の誇りになりますね。桑折町では、小学生も桑折西山城について勉強しているそうで、素晴らしいです。まずは、地元の皆さんが自分たちの町の歴史を学ぶこと、そして、歴史を知ること、さらに町を好きになってもらえたらいいなと思います。



▲中館から中継で堀の魅力を語る春風亭さん

千 入口を守るといのが、お城の一番のポイント。どうしても、土塁や石垣が切れるので、弱点になりますからね。

春 千田先生の書いた本に、「お城は心配性な人たちが良くして



いく」っていう解説がありましたよね。まさにその通りだなと思います。

千 また、堀の中に土塁を造って仕切り、畝堀という形にしています。どこから発想を得たのでしょうか。この時代の京都のお城にもまだない造りで、桑折西山城が全国初かもしれないですね。全国的なお城にある造りが、いち早くここで生まれた、という可能性が見えてきます。

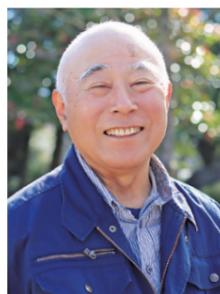
春 わたしは、縄張り図をおつまみにして、お酒を飲んだりするんですけれど（笑）。やっぱり現地へ行くと、図面からは読み取れないものが見えてきて、面白いですね。

check 見逃した！もう一度見たい！
大会の様子を配信中

動画投稿サイト「YouTube」内、「第28回全国山城サミット桑折大会」のチャンネルにて、2日間の大会の様子を配信しています。多彩なステージを、ぜひご覧ください。



視聴はこちら



町文化記念館 スタッフ
松野 純雄さん

サミットの開催が近づくにつれ、他県から問い合わせも増え、「生で見たかった」「コロナが落ち着いたら、絶対桑折町へ行きますから」という声をたくさんいただきました。山形県米沢市在住の人からは「うちの近くにも城跡があるけれど、全然整備されていなくて…。桑折西山城を見習って、仲間を集めて木や草を刈り、石碑を立てたい」といううれしい話も。桑折西山城が多くの人に注目されていることを肌で感じ、改めて誇りに思いました。

桑折西山城がサミットの会場に選ばれ、そして、歴史案内人として全国の皆さんにPRする機会をいただき、とても良い思い出になりました。コロナ禍で久しく会っていない県外に住むいとこや孫たちが、オンライン配信で見てくれてうれしかったです。最近町外の人から「桑折町って頑張っているよね」「桑折町のお城すごいね」と声をかけてもらうことが増えました。そんな歴史あるところに住んでいるなんて幸せだなどしみじみ感じました。



町歴史案内人
紺野 千恵子さん

オンライン配信という形での開催になってしまったのは残念でしたが、逆に、インターネットで全国各地の皆さんに大会の様子を見てもらうことができ良かったと思います。あれからコロナの状況も落ち着き、最近は飯舘村や川俣町、宮城県仙台市、丸森町などから、多くの方が城跡を訪れています。後日千田先生がテレビ番組で桑折西山城のことを紹介していただき、さらに町への関心も高まっています。今後も城の魅力を全国へ広めていきたいです。



全国山城サミット
桑折大会 実行委員長
吉田 良典さん